

【運転免許に係る行政処分の概要について】

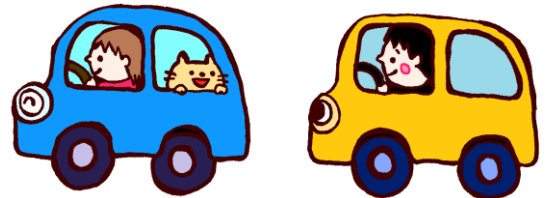
皆さんは、「交通人身事故を起こしたら、刑事責任(罰金や懲役)を負い、民事責任(損害賠償等)も負って、行政処分も受ける」などと聞いたことがあると思います。では、**行政処分とは何でしょうか？**

運転免許に係る**行政処分**は、**道路交通上の危険防止という行政目的のため**に行われるものだよ。



点数制度による行政処分 ~ 次の機会に詳しくご紹介します。

交通違反・人身事故により、累積点数が一定の基準に達した場合、「運転免許の効力の**停止**」、「運転免許の**取消し**」等の処分を受けることになります。



点数制度によらない行政処分

①一定の病気にかかっている人、②重大違反唆し(そそのかし)等、③道路外致死傷、④危険性帯有(たいゆう)により、運転免許の取消し、効力の停止等の処分が行われることがあります。

①**一定の病気** とは、認知症、アルコールや麻薬中毒等です。

②**重大違反唆し等** とは、「無免許運転の人に車を貸す」、「飲酒運転の車に同乗する」等が該当します。

③**道路外致死傷** とは、道路以外の場所(駐車場等)で、自動車等を運転して人身事故を起こした場合です。

④**危険性帯有** とは、車などの運転で交通の危険を生じさせるおそれある場合で、「あおり運転」、「常習的に麻薬や覚せい剤を使用している人」、「暴走行為をさせた人」等が該当することがあります。